



みなみの風

あいさつ・つたえあい・チャレンジが自慢
～優しい言葉があふれる坂下南小学校～

自分の命は自分で守る ～避難訓練～

1日(金)の避難訓練は、休み時間の地震の発生を想定し、①放送や教師の指示をよく聞く ②校地のどこにいても、避難の仕方がわかり、静かに避難する の2つをねらいとして実施しました。突然の放送で、初めはとまどった子もいましたが、すぐにその場で低い姿勢を取ったり、机の下に隠れたりして、身を守る行動ができました。そして、その後の放送を聞いて、安全に避難することができました。「よい目」「よい耳」を使って、行動できる力がついてきていると感じました。今後も、訓練等に真剣な態度で臨むことの大切さを伝えながら、「自分の命は自分で守る力」を育てていきます。



低い姿勢になり、次の放送を待つ態度が立派でした。

「よい目・よい耳・よい心・よい口」が
自分の命を守ります。

避難中や避難後、少し話し声が聞こえたのが残念でした。「よい口」も大事です。



避難する姿から真剣さ(よい心)が伝わってきました。



消防署の方をよく見て、話を聞いていました。

ちょっとい話

5年生が、理科で初めて顕微鏡を使いました。ヘチマの花粉の観察でレンズを覗いたとき、歓声とともに「お米みたい。」「鳥のくちばしみたい。」という言葉が聞こえてきました。中には、「宇宙みたい。」と言う子もいて、子ども達の発想の豊かさに感心させられました。そして、子ども達の姿を見て、体験活動をとおして感性を育むことの大切さを再確認しました。

